



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第660号
2025年1月13日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

「降下訓練始め」11か国の軍隊とともに行われる

「降下訓練始め」は陸上自衛隊第1空挺団が習志野演習場で1年間の降下安全を祈願して毎年実施しているもので、今年は1月12日(日)に行われました。

今回は過去最多となる11か国の空挺部隊が参加(前回は8か国)、第1空挺団とともに外国籍の空挺部隊が自衛隊航空機の他に米軍の航空機からもパラシュート降下しています。



パラシュート降下を行う米軍の航空機

「新日本婦人の会」市長へ中止を求める

国連NGO団体「新日本婦人の会」八千代支部は1月9日、服部友則八千代市長にたいし「習志野演習場日米降下訓練に対する要望書」を提出。

2025年の「降下訓練始め」への海外正規軍の参加中止を求めるとともに、降下訓練の場外降着事故によって2度も物損被害を受けた市民の生の声とあわせて「大事故が起きるのではないか」という不安の声を届けました。



市長は要望書を受け取ったものの「国の事項である」「船橋市、習志野市と協議してから」として、「直後に控えた降下訓練始めを中止させることは難しい」という回答に留まっています。

●参考：「新日本婦人の会」とは、女性の願いで行動する国連NGOの女性団体。1962年に平塚らいてう、いわさきちひろらの呼びかけで創立され、個人参加では日本最大の女性団体です。 リンク<https://www.shinfujin.gr.jp/>



100万人が暮らす街中の演習場が抱える問題

習志野演習場は、国内の降下訓練を行っている演習場の中で最も狭く、面積は、わずか約2Km²。さらに周辺は私たちが暮らす100万人の市街地であり、訓練の騒音や場外降着事故によって、地域の生活と安全を脅かしています。

さらに、外国の軍隊との合同訓練が行われる際には、駐屯地と周辺の宿泊施設へ外国の軍隊が宿泊することもあり、地域住民からは治安にたいする不安の声があがっています。

「戦後80年」新しい戦前にしないために

防衛省は「降下訓練始め」を「安全祈願と展示」というものの、実際には別名「NYJIP25」(NEW YEAR JUNP INDO PACIFIC)、日本語訳で「新年ジャンプ・インド太平洋」という名のとおり、自衛隊がインド太平洋地域で米軍と連携するための実質的な訓練になっているのではないのでしょうか？

私たちが暮らす日本は過去の戦争の反省から、憲法で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」と明記していることから、自衛隊が他国の軍隊とともに他国の指揮下で武力を行使することは、あってはなりません。

日本共産党は、日本国憲法とともに平和を求めていきます。そして地域の暮らしと安全を守るためにも問題点を指摘し、訴え続けていきます。